

## 「第二次佐倉市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」 進捗状況について（報告）

### 1. 二酸化炭素排出量実績

#### （1）市役所全体の二酸化炭素排出量

2024（令和6）年度の佐倉市役所全体の二酸化炭素排出量は、基準年度（2013（平成25）年度）との比較では、**22.0%の削減**、前年度（2023（令和5）年度）との比較では、**5.0%の削減**、となりました。

表1 二酸化炭素排出量

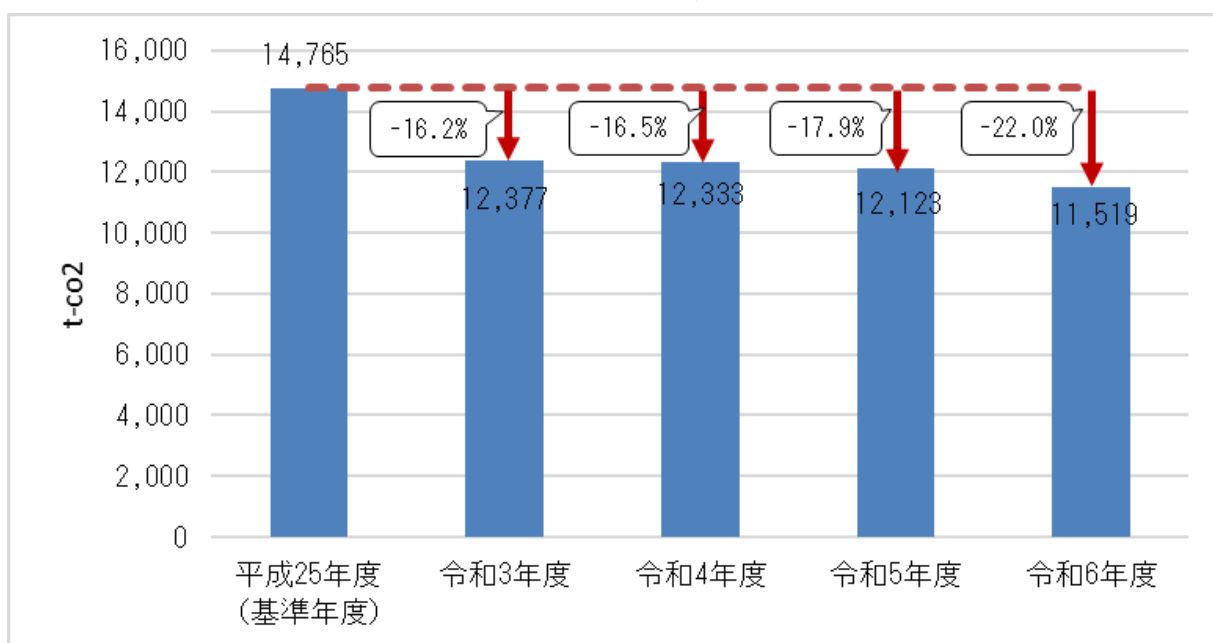
年度 区分	平成25年度 【基準年度】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
排出量 t-CO <sub>2</sub>	14,765	12,377	12,333	12,066 (12,123)※	11,519
基準年度比 増減率	-	-16.2%	-16.5%	-18.3% (-17.9%)※	<b>-22.0%</b>
前年度比 増減率	-	+2.5%	-0.4%	-2.2% (-1.7%)※	<b>-4.5%</b> (-5.0%)※

注：二酸化炭素排出量を算出する際に使用する電気の排出係数は、当該年度における電気事業者別の基礎排出係数を用いて算出しています。（以下同じ）

○小数点以下を四捨五入処理しているため、合計値は一致しません。

※数値については修正があったため、正式な数字は（）内に表記。

図1 全体の二酸化炭素排出量の推移



(2) 部局別の二酸化炭素排出量

2024（令和6）年度の市長部局の二酸化炭素排出量は、基準年度（2013（平成25）年度）との比較では、4.6%の削減、前年度（2023（令和5）年度）との比較では、10.8%の増加、となりました。

教育委員会は、基準年度との比較では、28.4%の削減、前年度との比較では、18.4%の減少、となりました。

公営企業は、基準年度との比較では、28.5%の削減、前年度との比較では、2.7%の減少、となりました。

表2 部局別の二酸化炭素排出量

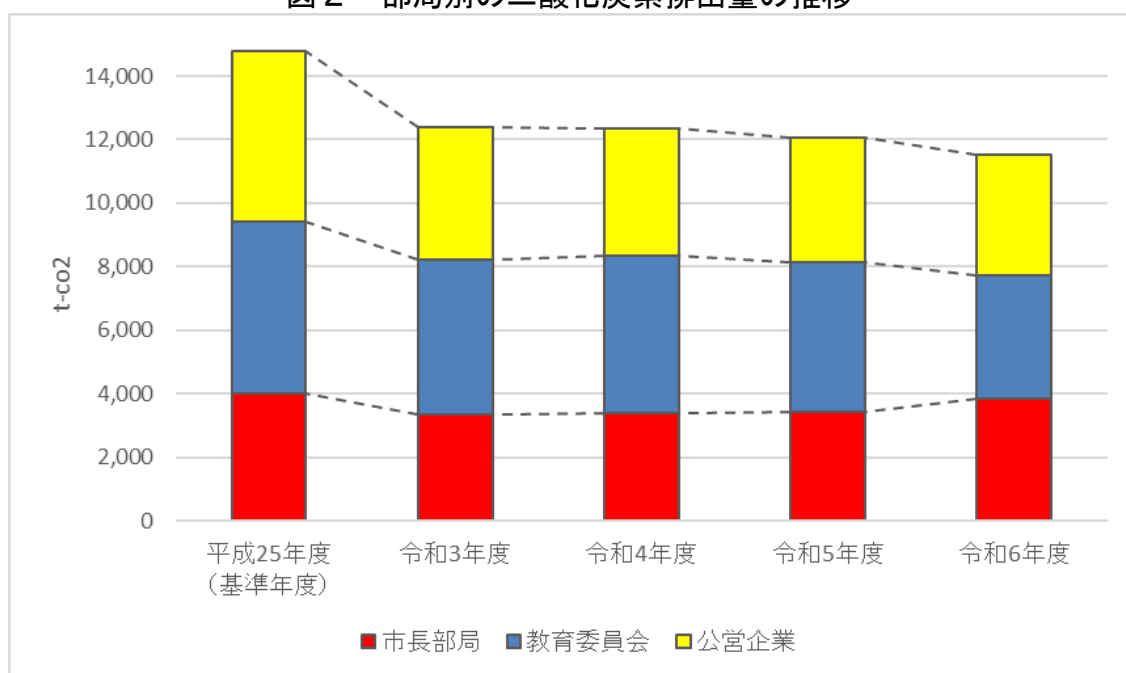
[単位：t-CO<sub>2</sub>]

年度 区分	平成25年度 【基準年度】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度の増減率	
						基準年度比 (%)	前年度比 (%)
市長部局 排出量	4,016	3,346	3,415	3,458	<b>3,831</b>	-4.6	10.8
教育委員会 排出量	5,419	4,879	4,923	4,693 (4,750)※	<b>3,878</b>	-28.4	-17.4 (-18.4)※
公営企業 排出量	5,330	4,152	3,995	3,915	<b>3,809</b>	-28.5	-2.7
合計排出量	14,765	12,377	12,333	12,066 (12,123)※	<b>11,518</b>	-22.0	-4.5 (-5.0)※

○小数点以下を四捨五入処理しているため、合計値は一致しません。

※数値については修正があったため、正式な数字は（）内に表記。

図2 部局別の二酸化炭素排出量の推移



(3) 排出要因別の二酸化炭素排出量

全体の二酸化炭素排出量のうち、電気が約 78.0%、電気とガス（都市ガス、LPG）が約 97.8%を占めていることから、空調、照明、事務機器等でのエネルギーの使用の対策を講じていくことが重要となります。

電気については、二酸化炭素排出量を算定する際に用いる排出係数が毎年度変化するため、実際の使用量で比較すると、基準年度より 10.7%減少、前年度より微減となりました。

軽油（公用車以外）やA重油等は、主に非常用発電に用いられ、年度により使用量が大きく変動します。

表3 排出要因別の二酸化炭素排出量

排出要因		実績 (t-CO <sub>2</sub> )			令和6年度の増減率	
		平成 25 年度 【基準年度】	令和5年度	令和6年度	基準年度比 (%)	前年度比 (%)
燃料 の 使用	ガソリン	193	124	129	-33.2	4.0
	灯油	196	2.4 (60)※	70	-64.3	2,916.7 (16.7)※
	軽油(公用車)	40	34	34	-15.0	0
	軽油(公用車以外)	4	0.4	0.2	-95.0	-50.0
	A重油	38	11	16	-57.9	45.5
	LPG	261	160	166	-36.4	3.8
	都市ガス	1,605	2,219	2,114	31.7	-4.7
電気の使用		12,411	9,514	8,990	-27.6	-5.5
合計		14,765	12,065 (12,123)※	11,518	-22.0	-4.5 (-5.0)※
(参考) 電気使用量(kWh)		23,373,279	20,872,342	20,871,252	-10.7	-0.0052

○平成 25 年度は、公用車利用による天然ガスから 16 t-CO<sub>2</sub>が排出されています。

○小数点以下を四捨五入処理しているため、合計値は一致しません。

※数値については修正があったため、正式な数字は ( ) 内に表記。

【参考】各排出要因の主な用途

ガソリン：公用車の燃料

灯油：学校や草ぶえの丘のストーブ等

軽油（公用車）：ダンプ、トラック、特殊車両等の燃料

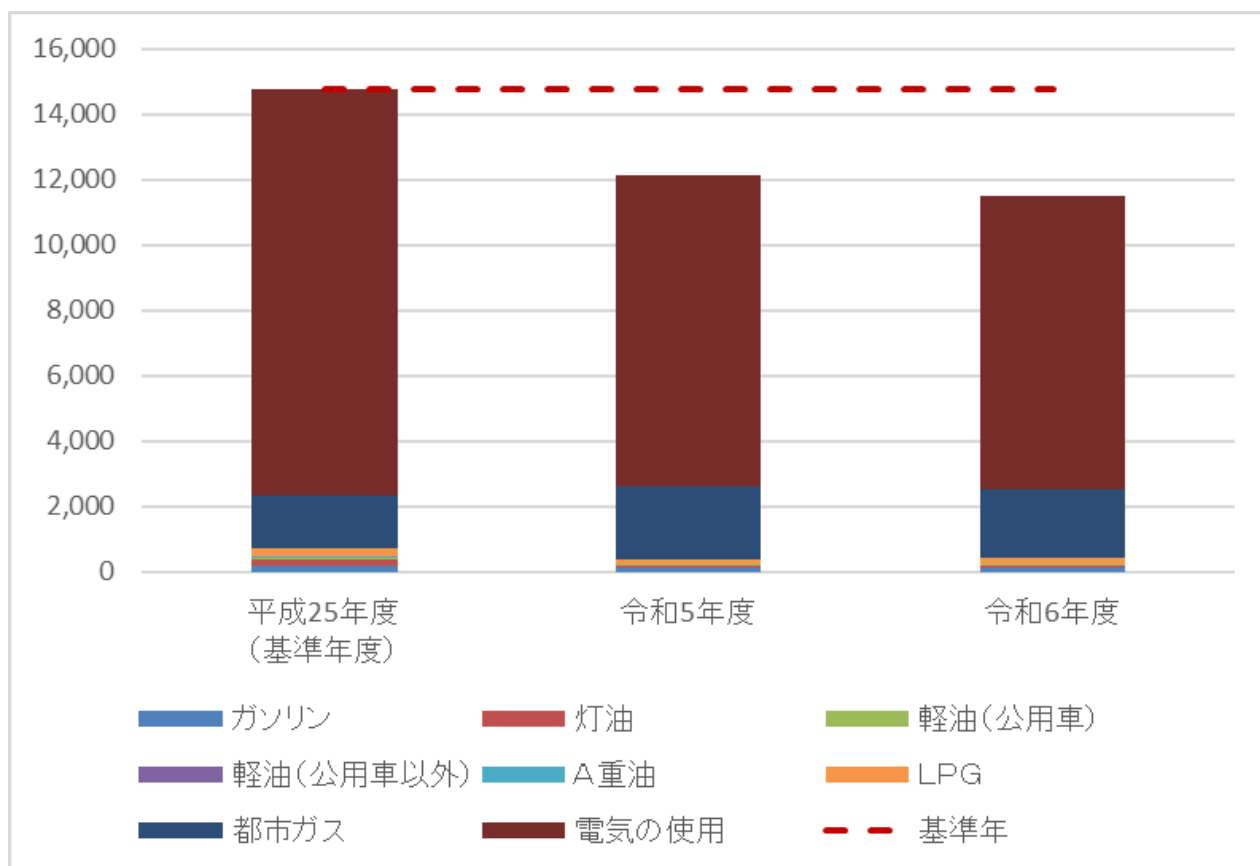
軽油（公用車以外）：水道部井戸の非常用発電機、下水道ポンプ場の非常用発電機

A重油：草ぶえの丘のボイラー（空調、風呂）、浄水場の非常用自家発電

LPG(プロパンガス)：学校、保育園等の調理、給湯等

都市ガス：本庁舎、学校、保育園等の空調、調理、給湯等

図3 排出要因別の二酸化炭素排出量



## 2. 重点取組

### (1) 設備の高効率化の推進(照明設備)

取組内容	施設名	対象箇所	CO2 削減量 (Kg-CO2)
照明設備のLED化	全小学校	校舎、外灯	332,752
	全中学校		257,566
		合計	590,318